Re デザイン。

令和8年度
授業の改善・充実に向けた説明会Ⅰ
小学校　算数

全国学力・学習状況調査の早期採点の結果を踏まえて

全国学力・学習状況調査の目的

児童生徒への学習指導の改善・充実等に取り組む際に役立てる。

全国学力・学習状況調査の特徴

★一人一人のつまずきが見えるように「解答類型」を設けてある。

「解答類型」とは？

児童生徒一人一人の具体的な解答状況を把握することができるように、設定する条件等に即して解答を分類、整理したものである。

解答類型

問題番号		解答類型		正答
1		1	2×3×7 と解答しているもの。（かけ算の順序は不問。以下同様。）	◎
		2	2×21 と解答しているもの。	
		3	3×14 と解答しているもの。	
		4	6×7 と解答しているもの。	
		5	因数に1を含んでいるもの。	
		6	42をいくつかの数の和の式で表し解答したもの。	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

解答類型を基に分析することで、児童生徒のつまずいているところが見えてくる。

つまずきの原因や課題を見出し、つまずきを解消するための授業の在り方を見直すことが大切である。

小学校・算数

数字カードを用いた遊びの場面において、整数と小数の減法の計算を用いて、小数の大きさを考察することができる児童

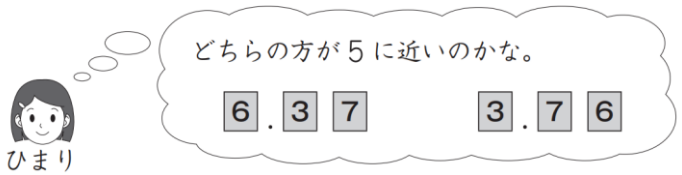
こんな姿を目指したい!!

3
(2)

(2) たいがさんたちは、【ルール2】で遊ぶことにしました。

【ルール2】
①引いたカード3枚(まい)すべてを、□に当てはめて小数をつくります。
□.□□
② 5に近い数をつくった方が、勝ちです。

ひまりさんは、3 6 7 を引きました。



クローズアップする設問

6.37と3.76のどちらの方が5に近いかを調べるために、下の㋐と㋑のひき算をします。
それぞれの計算の答えを書きましょう。

㋐ 6.37 − 5

㋑ 5 − 3.76

数字カードを用いた遊びの場面において、小数の大きさを考察するために、整数と小数の減法の計算をする問題

この問題に対して、児童がこのように考えるようになったきっかけや理由を想像してみましょう。

A この児童は、問題をどう捉えたのだろう？

B この児童に、授業の中でどうアプローチしますか？

特徴的な解答類型

この問題に対して、次のような考えをもつ児童がいました。

㋐の答えは、1.37で、
㋑の答えは、2.76です。

※解答類型3

A この児童は、問題をどう捉えたのだろう？

6.37と3.76のどちらの方が5に近いかを調べるために、下の㋐と㋑のひき算をします。
それぞれの計算の答えを書きましょう。

㋐　6.37 − 5

㋑　5 − 3.76

この児童

㋐の答えは、1.37 で、
㋑の答えは、2.76 です。

※解答類型3

Slidoを使って、参加型の学習会にアップグレードしましょう！【①or②】
①お手元に端末（スマホ可、通信料は自己負担）があれば二次元コードから。
②チャットでリンクを送るので、ご覧の端末からでもアクセス可能です。

インタラクション1

この子の視点で・・・

Slidoを使って
みなさんの考えを
共有しましょう

一生懸命考えたはず

どこに着目したんだろう

A この児童は、問題をどう捉えたのだろう？

6.37と3.76のどちらの方が5に近いかを調べるために、下の㋐と㋑のひき算をします。
それぞれの計算の答えを書きましょう。

㋐　6.37－5

㋑　5－3.76

この児童

㋐の答えは、1.37で、
㋑の答えは、2.76です。

※解答類型3

早期採点の結果から見られた傾向

- 6.37－5＝**1.37（正答）**
  ⇒8割以上の児童が正答していた。
  ※解答類型1～6
- 5－3.76＝**2.76（誤答）**
  ⇒児童が一定数いた。
  ※解答類型3、9

① 下のように一の位は揃えたが、整数部分のみを計算した。

$$\begin{array}{r} 5 \\ -\ 3.76 \\ \hline 2.76 \end{array}$$

- この児童の捉えを、①のように解釈したならば、筆算形式で計算することについての理解を深める必要がある。

A この児童は、問題をどう捉えたのだろう？

- 例えば、筆算形式で計算することについて、右の筆算でいえば、５の右側には空位の０があることを確認し、小さい位からひいていく筆算の手順を振り返ることが大切である。

～手順を忘れても、できるようにするには？～

- このような学習の素地となる**「見方・考え方」**も重要である。すなわち、位に注目して、位を揃えて書くことである。その上で、小数第一位の７に対応する数は何か？　小数第二位の６に対応する数は何か？　を問うことも大切である。

```
   5
 − 3.76
 ------
   2.76
```

見方・考え方
内容や領域をこえて共通して働かせるもの
既習をつなぐ鍵

```
   5.00
 − 3.76
 ------
```

A この児童は、問題をどう捉えたのだろう？

6.37と3.76のどちらの方が5に近いかを調べるために、下の㋐と㋑のひき算をします。
それぞれの計算の答えを書きましょう。

㋐　6.37－5

㋑　5－3.76

この児童

㋐の答えは、1.37で、
㋑の答えは、2.76です。

※解答類型3

早期採点の結果から見られた傾向

- 6.37－5＝**1.37（正答）**
  ⇒8割以上の児童が正答していた。
  ※解答類型1～6
- 5－3.76＝**2.76（誤答）**
  ⇒児童が一定数いた。
  ※解答類型3、9

② 筆算形式ではないため、式の左側「5－3」だけを見て計算した。（小数部分はそのまま付けた。）

筆算をせずに暗算で2.76と解答した？

暗算で間違い
⇒どこに課題？

授業でどうアプローチする？

B この児童に、授業の中でどうアプローチしますか？

筆算をせずに
暗算で２.７６
と解答した？

暗算で間違い
⇒どこに課題？

それぞれの計算の答えを書きましょう。

㋐ 6.37 − 5

㋑ 5 − 3.76

この児童

㋐の答えは、1.37 で、
㋑の答えは、2.76 です。

※解答類型３

Slidoを使って、参加型の学習会にアップグレードしましょう！【①or②】
①お手元に端末（スマホ可、通信料は自己負担）があれば二次元コードから。
②チャットでリンクを送るので、ご覧の端末からでもアクセス可能です。

インタラクション２

個別対応
するなら

Slidoを使って
みなさんの考えを
共有しましょう

友達との
かかわりで

つまずきを
学びにする

B この児童に、授業の中でどうアプローチしますか？

6.37と3.76のどちらの方が5に近いかを調べるために、下の㋐と㋑のひき算をします。
それぞれの計算の答えを書きましょう。

㋐ 6.37－5

㋑ 5－3.76

この児童

㋐の答えは、1.37で、
㋑の答えは、2.76です。

※解答類型3

- この児童の捉えを、②のように解釈したならば、小数をひくことの意味の理解を深めたり、およその数で計算結果を見積もることのよさを確認したりする必要がある。

②筆算形式ではないため、式の左側「５－３」だけを見て計算した。（小数部分はそのまま付けた。）

筆算をせずに暗算で2.76と解答した？

暗算で間違い
⇒どこに課題？

B この児童に、授業の中でどうアプローチしますか？

- ②のように、筆算でなく暗算でやろうとして、整数部分のみに着目している場合には、３．７６をひくことは「３と少し」の大きさの数をひくことであることを確認した上で、「３だけをひいた場合と比べて、答えは大きくなるかな？小さくなるかな？変わらないかな？」などと問うことも考えられる。
- また、およその数で計算結果を見積もるよさを実感させるのである。３．７６を４と見積もれば、およその答えは１。３．７６を３と見積もれば、およその答えは２となることから、答えが１～２の間にありそうだと予想する。

B この児童に、授業の中でどうアプローチしますか？

- このように考えることができるようにするためには、正確に計算することだけでなく、数の大きさに対する感覚を豊かにすることが大切である。
- 例えば、「３．７６は４までどれくらいか？」を考えさせる。数直線を使って、３と３．７６と４の位置を確認してイメージをもたせ、「４まで０．２と少し」といった児童の素朴な数の感覚を大切にし、徐々に「４まで０．２４」と捉えることができるようにする。その上で、４から５までは１であることと合わせて、５－３．７６の答えの大きさを見積もるのである。

令和8年度　全国学力・学習状況調査

解説資料（小学校　算数）について

- 調査実施後、各教育委員会や学校が速やかに学習指導の改善・充実等に役立てることを目的として作成・公開。
- 各問題の趣旨、学習指導要領との関連、解答類型、正答や予想される解答の解説、関連する過去の問題等が掲載。
- 今年度より、大問全体の「出題の趣旨」に続いて、小学校算数では**「本問に関わる単元づくりに向けて」**（※校種・教科ごとに表現が異なる）**が新設**されている。

国立教育政策研究所ＨＰで調査実施後に、問題等とともに公開されている。

https://www.nier.go.jp/26chousa/pdf/26kaisetsu_shou_sansuu_kkykf.pdf

□本問に関わる単元づくりに向けて

整数や小数、分数を関連付けて数の表し方の仕組みについて考えることができるようにすることが大切である。その際、整数や小数、分数は単位の幾つ分としてみることができることを理解できるようにすることが大切である。また、整数や小数については、十進位取り記数法に基づく数の表し方であることを統合的に理解できるようにしたり、分数については、整数の除法の結果を分数で表すことができることや分数を小数で表すことができることなどを理解できるようにしたりすることが大切である。さらに、数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目して、計算の仕方や大小の比べ方を考えることができるようにすることも大切である。

【数の表し方】数の表し方の仕組みについて考える。

整数

376

位	百	十	一	$\frac{1}{10}$	$\frac{1}{100}$
	3	7	6		

小数

3.76

位	百	十	一	$\frac{1}{10}$	$\frac{1}{100}$
			3	7	6

分数

$\frac{376}{100}$

$\frac{376}{100}$ は $\frac{1}{100}$ の376個分

$\frac{376}{100} = 376 \div 100$

大問３の「本問に関わる単元づくりに向けて」（抜粋）

解答類型

問題番号			解答類型 ㋐	解答類型 ㋑	正答
3	(2)	1	1.37　と解答	1.24　と解答しているもの	◎
		2		1.34　と解答しているもの 2.24　と解答しているもの 2.34　と解答しているもの	
		3		2.76　と解答しているもの	
		4		3.71　と解答しているもの	
		5		12.4　と解答しているもの 124　と解答しているもの	
		6		類型１から類型５以外の解答 無解答	
		7	1.37　以外の解答 無解答	1.24　と解答しているもの	
		8		1.34　と解答しているもの 2.24　と解答しているもの 2.34　と解答しているもの	
		9		2.76　と解答しているもの	

大問３(2)の「解答類型」（抜粋）

解説資料より

「本問に関わる単元づくりに向けて」（R8から新設）

※大問3については、解説資料のP38に掲載されています。

□本問に関わる単元づくりに向けて

整数や小数、分数を関連付けて数の表し方の仕組みについて考えることができるようにすることが大切である。その際、整数や小数、分数は単位の幾つ分としてみることができることを理解できるようにすることが大切である。また、整数や小数については、十進位取り記数法に基づく数の表し方であることを統合的に理解できるようにしたり、分数については、整数の除法の結果を分数で表すことができることや分数を小数で表すことができることなどを理解できるようにしたりすることが大切である。さらに、数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目して、計算の仕方や大小の比べ方を考えることができるようにすることも大切である。

【数の表し方】数の表し方の仕組みについて考える。

整数

376

位	百	十	一	$\frac{1}{10}$	$\frac{1}{100}$
	3	7	6		

百の位：100の３個分

十の位：　10の７個分

一の位：　１の６個分

小数

3.76

位	百	十	一	$\frac{1}{10}$	$\frac{1}{100}$
			3	7	6

一　の位：　1　　の３個分

$\frac{1}{10}$　の位：　0.1　の７個分

$\frac{1}{100}$ の位：　0.01の６個分

分数

$\frac{376}{100}$

$\frac{376}{100}$ は $\frac{1}{100}$ の376個分

$\frac{376}{100} = 376 \div 100$

$\frac{376}{100} = 3.76$

【計算の仕方】十進位取り記数法であることから、位をそろえて計算する。

$$\begin{array}{r} 500 \\ -376 \\ \hline 124 \end{array} \qquad \begin{array}{r} 5 \\ -3.76 \\ \hline 1.24 \end{array}$$

【大小の比べ方】数直線で分数の大きさを比べる。

解説資料より

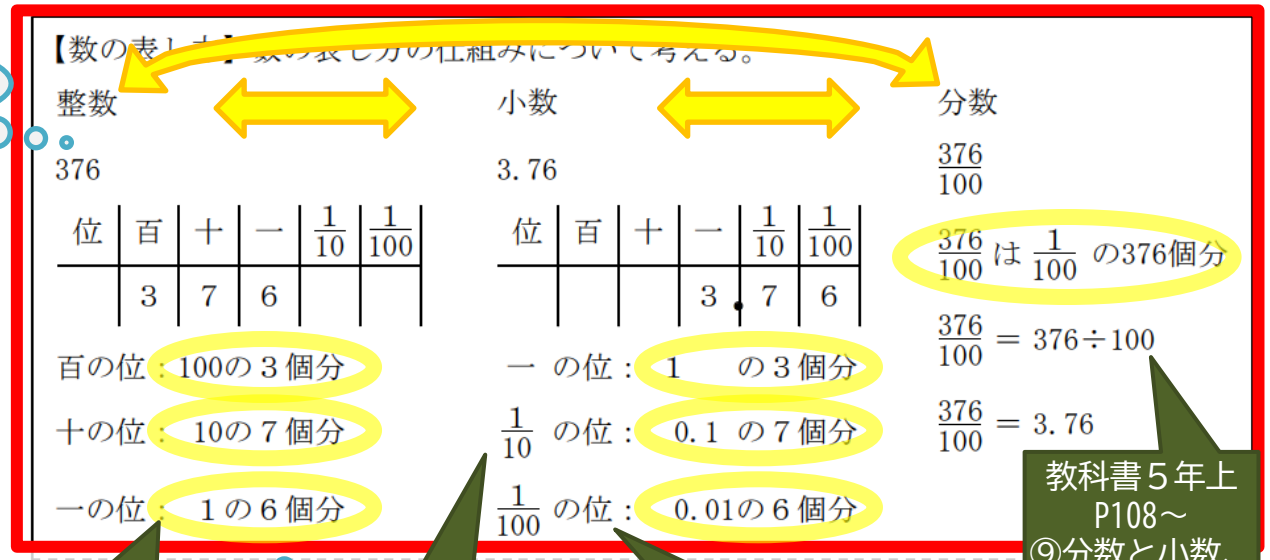
「本問に関わる単元づくりに向けて」（R8から新設）

教科書５年上
P108～
⑨分数と小数、
整数の関係

子供も関連付けて
考えられるように

整数や小数、分数を関連付けて数の表し方の仕組みについて考えることができるようにすることが大切である。その際、整数や小数、分数は単位の幾つ分としてみることができることを理解できるようにすることが大切である。

見方・
考え方



教科書２年上
P50～
⑤３けたの数

教科書３年下
P14～ ⑬小数

教科書４年上
P72～
⑤小数のしくみ

教科書５年上
P108～
⑨分数と小数、
整数の関係

整数も小数も分数も
単位の幾つ分として
みることができる！

小数も分数も
整数と同じよう
に考えればいい

解説資料より

「本問に関わる単元づくりに向けて」（R8から新設）

※大問3については、解説資料のP38に掲載されています。

□本問に関わる単元づくりに向けて

整数や小数、分数を関連付けて数の表し方の仕組みについて考えることができるようにすることが大切である。その際、整数や小数、分数は単位の幾つ分としてみることができることを理解できるようにすることが大切である。

また、整数や小数については、十進位取り記数法に基づく数の表し方であることを統合的に理解できるようにしたり、分数については、整数の除法の結果を分数で表すことができることや分数を小数で表すことができることなどを理解できるようにしたりすることが大切である。さらに、数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目して、計算の仕方や大小の比べ方を考えることができるようにすることも大切である。

【数の表し方】数の表し方の仕組みについて考える。

整数

376

位	百	十	一	$\frac{1}{10}$	$\frac{1}{100}$
	3	7	6		

百の位：100の３個分

十の位：　10の７個分

一の位：　１の６個分

小数

3.76

位	百	十	一	$\frac{1}{10}$	$\frac{1}{100}$
			3	7	6

一　の位：　1　　の３個分

$\frac{1}{10}$　の位：　0.1　の７個分

$\frac{1}{100}$ の位：　0.01の６個分

教科書５年上
P8～①整数と小数

教科書２年上
P50～
⑤３けたの数

教科書３年下
P14～　⑬小数

教科書４年上
P72～
⑤小数のしくみ

整数も小数も
位が変わるごとに
10倍（1／10）に
なっていくね！

小数も整数と
同じように
考えればいい

解説資料より

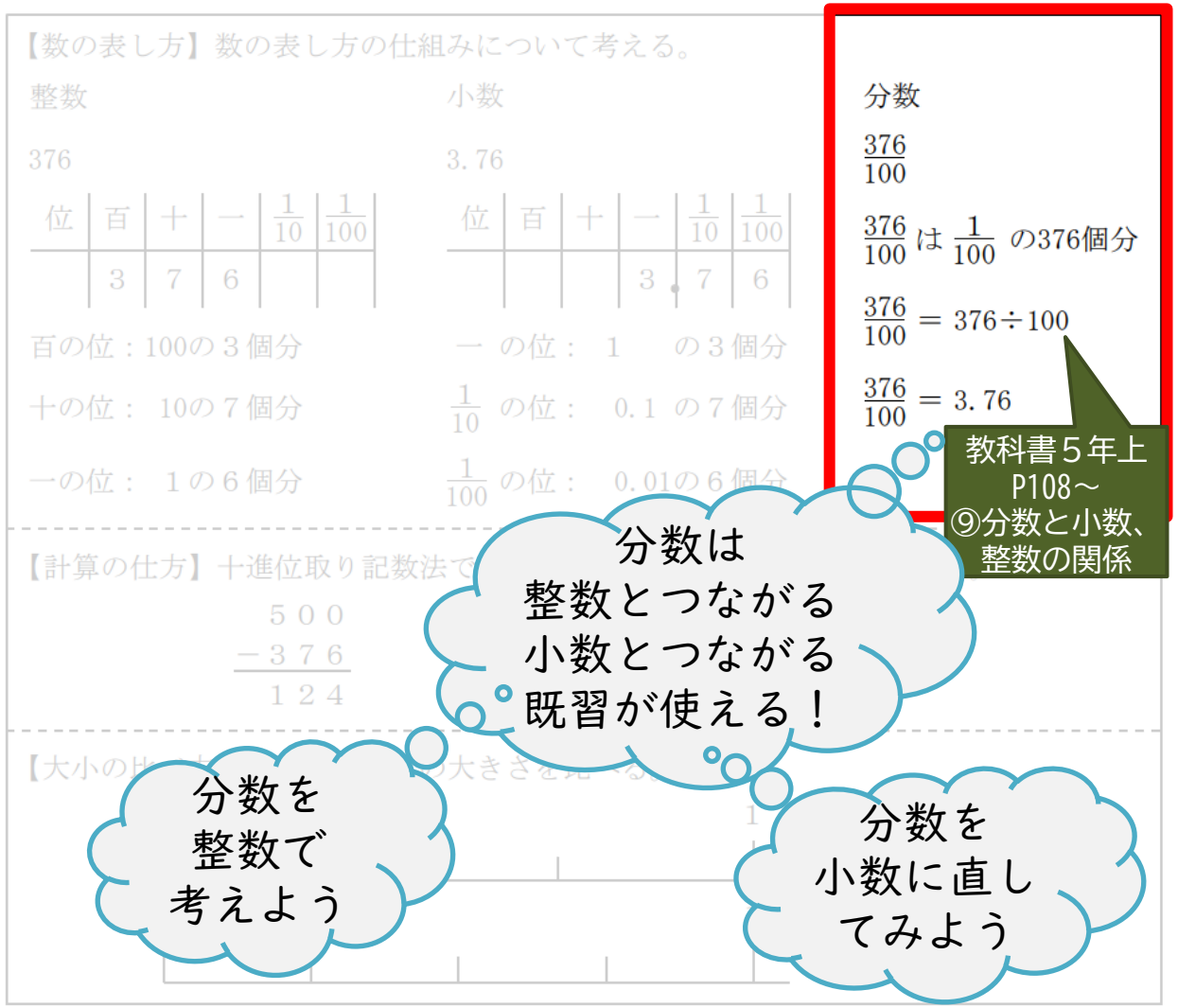
「本問に関わる単元づくりに向けて」（R8から新設）

※大問3については、解説資料のP38に掲載されています。

□本問に関わる単元づくりに向けて

整数や小数、分数を関連付けて数の表し方の仕組みについて考えることができるようにすることが大切である。その際、整数や小数、分数は単位の幾つ分としてみることができることを理解できるようにすることが大切である。また、整数や小数については、十進位取り記数法に基づく数の表し方であることを統合的に理解できるようにしたり、分数については、整数の除法の結果を分数で表すことができることや分数を小数で表すことができることを理解できるようにしたりすることが大切である。さらに、数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目して、計算の仕方や大小の比べ方を考えることができるようにすることも大切である。

教科書５年上
P108～
⑨分数と小数、
整数の関係



解説資料より

「本問に関わる単元づくりに向けて」（R8から新設）

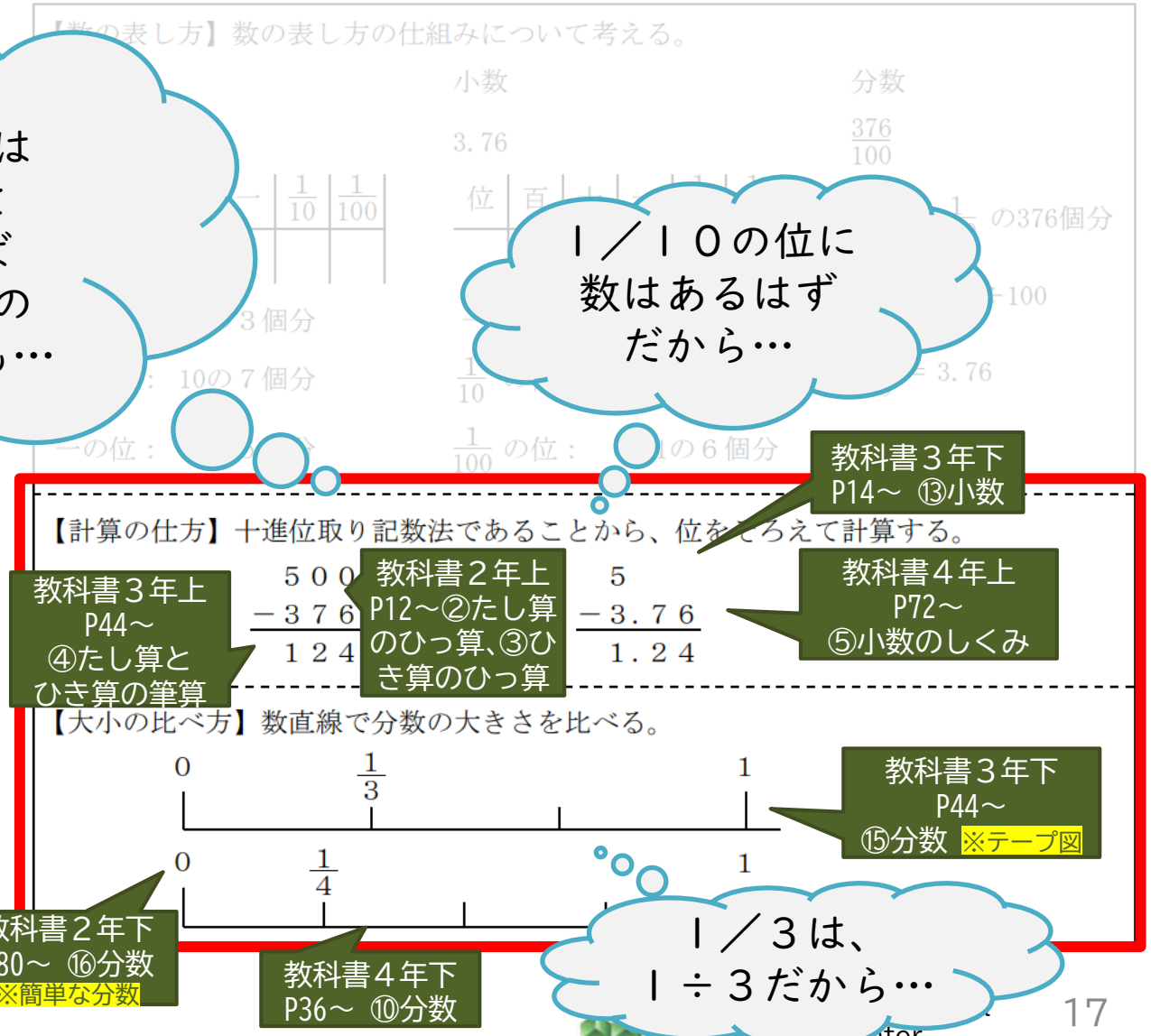
※大問3については、解説資料のP38に掲載されています。

□本問に関わる単元づくりに

整数や小数、分数を関連
の仕組みについて考え
することが大切である。
分数は単位の幾つ分とし
ことを理解できるようにす
る。また、整数や小数については、十進位取
り記数法に基づく数の表し方であることを統
合的に理解できるようにしたり、分数につい
ては、整数の除法の結果を分数で表すことが
できることや分数を小数で表すことができる
ことなどを理解できるようにしたりすること
が大切である。

数の表し方の仕組みは
小数も分数も整数と
同じように考えれば
よかったから、計算の
仕方や大小の比べ方も…

１／１０の位に
数はあるはず
だから…



１／３は、
１÷３だから…

見方・
考え方

さらに、数の表し方の仕組みや数を構成する**単位に着目して、計算の仕方や大小の比べ方を考えること**ができるようにすることも大切である。

「本問に関わる単元づくりに向けて」にある内容を、

4年「⑤小数のしくみ」の単元に焦点化して考えてみる

教科書4年上「⑤小数のしくみ」 P82「3 小数のたし算とひき算」より

問題
水がポットに１．７５Ｌ、やかんに２．６４Ｌ入っており、合わせて何Ｌかを求める場面。

１人目の考え
位ごとに分けて考えると、
１．７５は　１　と　０．７　と　０．０５
２．６４は　２　と　０．６　と　０．０４
あわせて　　と　　と
だから筆算でできそう

整数のように同じ位どうしをたせばよい

２人目の考え
０．０１をもとにして考えると、
１．７５は　０．０１　が　　こ
２．６４は　０．０１　が　　こ
あわせて　　０．０１　が　　こ
だから筆算でできそう

整数でたし算をすればよい

整数のたし算の結果を小数に

□本問に関わる単元づくりに向けて（抜粋）

整数や小数を関連付けて数の表し方の仕組みについて考えることができるようにすることが大切である。その際、整数や小数は単位の幾つ分としてみることができることを理解できるようにすることが大切である。また、整数や小数については、十進位取り記数法に基づく数の表し方であることを統合的に理解できるようにすることが大切である。

なお、小数のたし算とひき算は、第３学年においても、教科書３年下「⑬小数」で、同じように学んできている。小数を初めて学ぶ単元であり、０．１をもとにして整数の計算に帰着させる考えを中心に扱っている。

教科書４年上と教科書３年下を見比べましょう

小学校・算数

異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述できる児童

こんな姿を目指したい!!

3 (3)

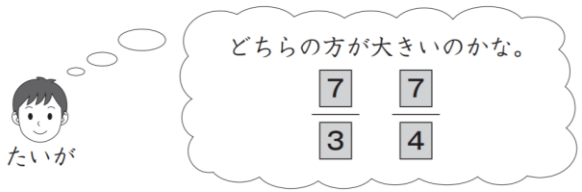
(3) たいがさんたちは、【ルール3】で遊ぶことにしました。

【ルール3】
①引いたカード３枚のうち、２枚を □ に当てはめて分数をつくります。

$\frac{\square}{\square}$

②大きい数をつくった方が、勝ちです。

たいがさんは、3 4 7 を引きました。



クローズアップする設問

$\frac{7}{3}$ と $\frac{7}{4}$ では、どちらの方が大きいですか。下のアからウまでの中から１つ選んで、その記号を書きましょう。
また、その記号を選んだわけを、数や言葉を使って書きましょう。

ア　$\frac{7}{3}$ の方が大きい。

イ　$\frac{7}{4}$ の方が大きい。

ウ　$\frac{7}{3}$ と $\frac{7}{4}$ の大きさは等しい。

異分母の分数の大小を判断し、その理由を説明する問題

この問題に対して、児童がこのように考えるようになったきっかけや理由を想像してみましょう。

A この児童は、問題をどう捉えたのだろう？

B この児童に、授業の中でどうアプローチしますか？

特徴的な解答類型

この問題に対して、次のような考えをもつ児童がいました。

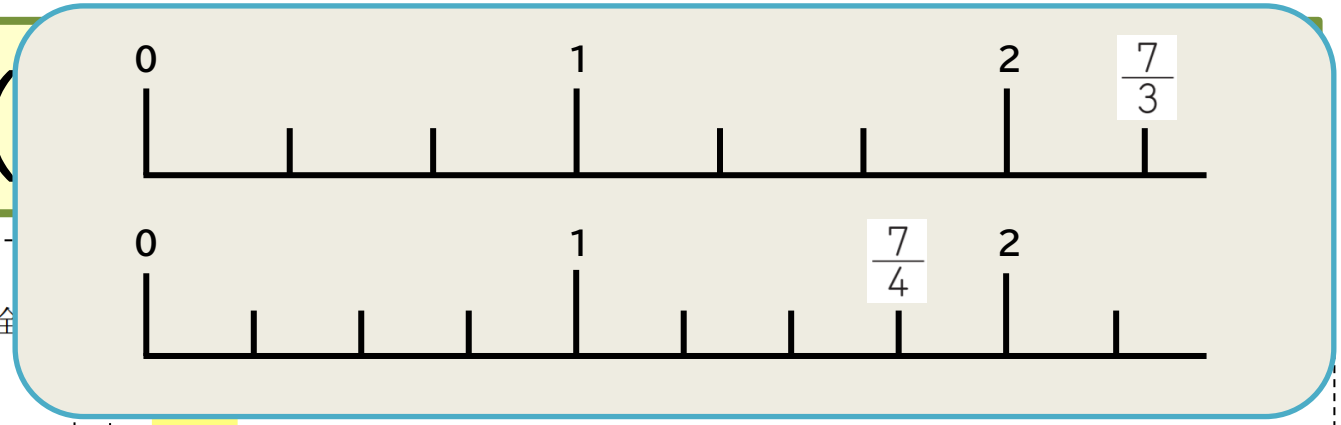
$\frac{7}{4}$ の方が大きいです。
分子は同じで分母が３と４なので、分母が大きい方が、数が大きいからです。

※解答類型１３

令和8年度
授業の改善・充実
に向けた説明会Ⅰ

Reデザイン。

大問3(



（正答の条件）

記号を **ア** と選び、次のA、B、C、Dについて、いずれかの方法で①、②の全
を書いている。

A【通分を用いた大小比較】

A① $\frac{7}{3}$ と $\frac{28}{12}$ が等しいことを表す数や言葉

A② $\frac{7}{4}$ と $\frac{21}{12}$ が等しいことを表す数や言葉

B【分数を小数で表した大小比較】

B① $\frac{7}{3}$ と2.33…が等しいことを表す数や言葉

B② $\frac{7}{4}$ と1.75が等しいことを表す数や言葉

C【仮分数を帯分数で表した大小比較】

C① $\frac{7}{3}$ と $2\frac{1}{3}$ が等しいことを表す数や言葉

C② $\frac{7}{4}$ と $1\frac{3}{4}$ が等しいことを表す数や言葉

D【分子が等しいことに着目した大小比較】

D① $\frac{7}{3}$ と $\frac{7}{4}$ の分子が等しいことに着目していることを表す数や言葉

D② $\frac{7}{3}$ と $\frac{7}{4}$ の分母に着目して、分母が小さい方が数が大きいことを表す数や言葉

・A

【記号】 **ア**

【わけ】 $\frac{7}{3}$ と $\frac{7}{4}$ を通分すると、$\frac{7}{3}$ は $\frac{28}{12}$、$\frac{7}{4}$ は $\frac{21}{12}$ なので、$\frac{7}{3}$ の方が大きいです。 （解答類型１）

・B

【記号】 **ア**

【わけ】 $\frac{7}{3}$ と $\frac{7}{4}$ を小数で表すと、$\frac{7}{3}$ は2.33…、$\frac{7}{4}$ は1.75なので、$\frac{7}{3}$ の方が大きいです。 （解答類型３）

・C

【記号】 **ア**

【わけ】 $\frac{7}{3}$ と $\frac{7}{4}$ を帯分数で表すと、$\frac{7}{3}$ は $2\frac{1}{3}$、$\frac{7}{4}$ は $1\frac{3}{4}$ なので、$\frac{7}{3}$ の方が大きいです。 （解答類型５）

・D

【記号】 **ア**

【わけ】 $\frac{7}{3}$ と $\frac{7}{4}$ の分子は７で等しいです。$\frac{7}{3}$ と $\frac{7}{4}$ の分母を比べると $\frac{7}{3}$ の分母の方が小さいです。分子が等しいとき、分母が小さい方が数が大きいので、$\frac{7}{3}$ の方が大きいです。 （解答類型７）

大問3(3)の解答類型

（正答の条件）

記号を **ア** と選び、次のA、B、C、Dについて、いずれかの方法で①、②の全てを書いている。

A【通分を用いた大小比較】

A① $\frac{7}{3}$ と $\frac{28}{12}$ が等しいことを表す数や言葉

A② $\frac{7}{4}$ と $\frac{21}{12}$ が等しいことを表す数や言葉

B【分数を小数で表した大小比較】

B① $\frac{7}{3}$ と2.33…が等しいことを表す数や言葉

B② $\frac{7}{4}$ と1.75が等しいことを表す数や言葉

C【仮分数を帯分数で表した大小比較】

C① $\frac{7}{3}$ と $2\frac{1}{3}$ が等しいことを表す数や言葉

C② $\frac{7}{4}$ と $1\frac{3}{4}$ が等しいことを表す数や言葉

D【分子が等しいことに着目した大小比較】

D① $\frac{7}{3}$ と $\frac{7}{4}$ の分子が等しいことに着目していることを表す数や言葉

D② $\frac{7}{3}$ と $\frac{7}{4}$ の分母に着目して、分母が小さい方が数が大きいことを表す数や言葉

	記号	わけ	
1	ア と解答	A①、A②の全てを書いているもの	◎
2		A①又はA②を書いているもの 通分について書いているもの	
3		B①、B②の全てを書いているもの	◎
4		B①又はB②を書いているもの 分数を小数で表すことについて書いているもの	
5		C①、C②の全てを書いているもの	◎
6		C①又はC②を書いているもの 仮分数を帯分数で表すことについて書いているもの	
7		D①、D②の全てを書いているもの	◎
8		D①又はD②を書いているもの 分子が等しいことや分母の大小関係について書いているもの	
9		類型１から類型８以外の解答 無解答	

授業の改善・充実に向けた

ポータルサイト公開中！

PC、タブレット、スマホからも視聴可能
授業づくりのヒントに活用してみませんか

- 総合教育センターでは、令和７年度より「授業の改善・充実に向けたポータルサイト」を作成しています。
- 令和８年度も、授業の改善・充実に向けた情報を配信していく予定です。

ポータルサイト

山梨県総合教育センター
Yamanashi Prefectural Education Center

Re デザイン。 学校教育支援部 調査研究課

URL：https://sites.google.com/ypecken.kai.ed.jp/jugyoukaizen/top